

○ タ イ ト ル : 地域で取り組むがん患者支援  
がん医療従事者研修会 広島 2023

## アンケート

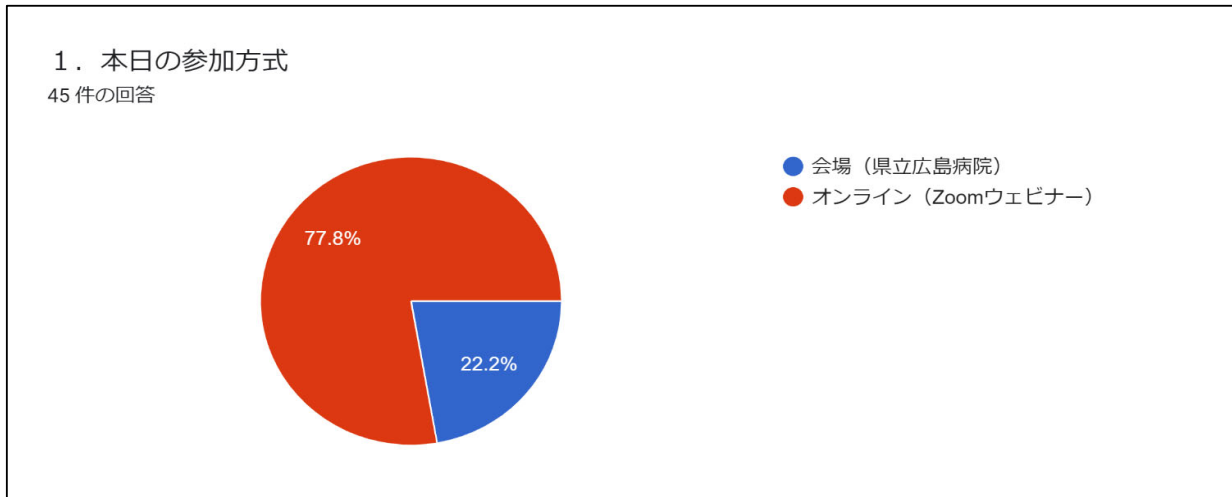
- 日 時 : 2023年7月11日(火)19:00~20:30
- 会 場 : 会場とのハイブリッド形式開催
- 対 象 : 医療従事者、広島県のがん患者さん支援に関心のある方  
(オンライン参加の方は地域を問わず申し込み可)
- 参 加 費 : 無料
- 参加者数(講師含) : 94名(会場24名、オンライン70名)
- アンケート回収数 : 45件

主 催 : 県立広島病院がん診療推進運営委員会  
がん患者のための多職種チームケアと地域医療連携を推進するプロジェクト(#まるコラボ)

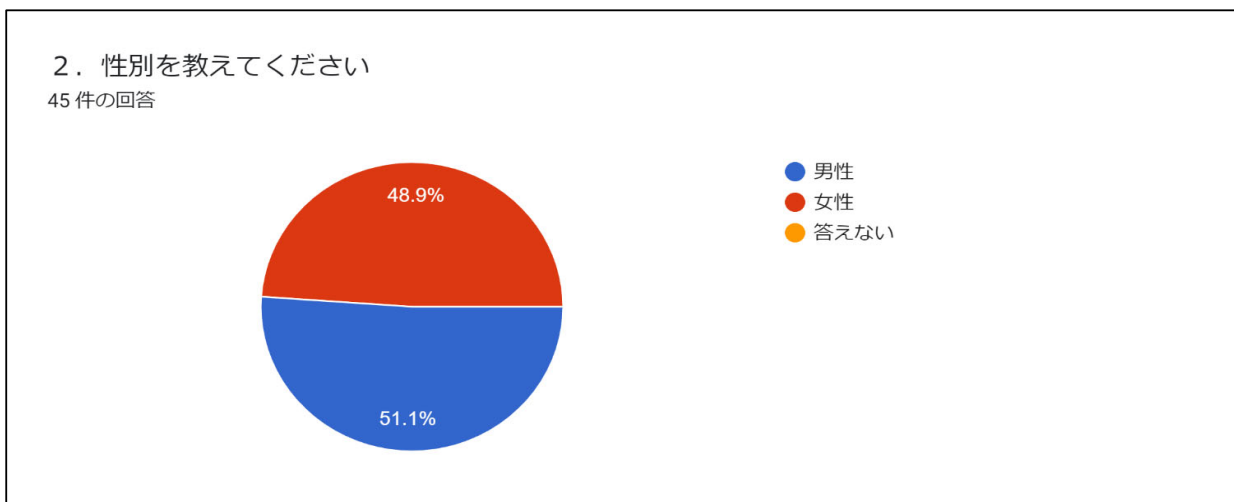
後 援 : 日本がんサポーターズケア学会

日本癌治療学会／ファイザーの医学教育助成金「がん患者のためのチーム医療・地域医療連携の推進に対する取り組み」協力のもと開催

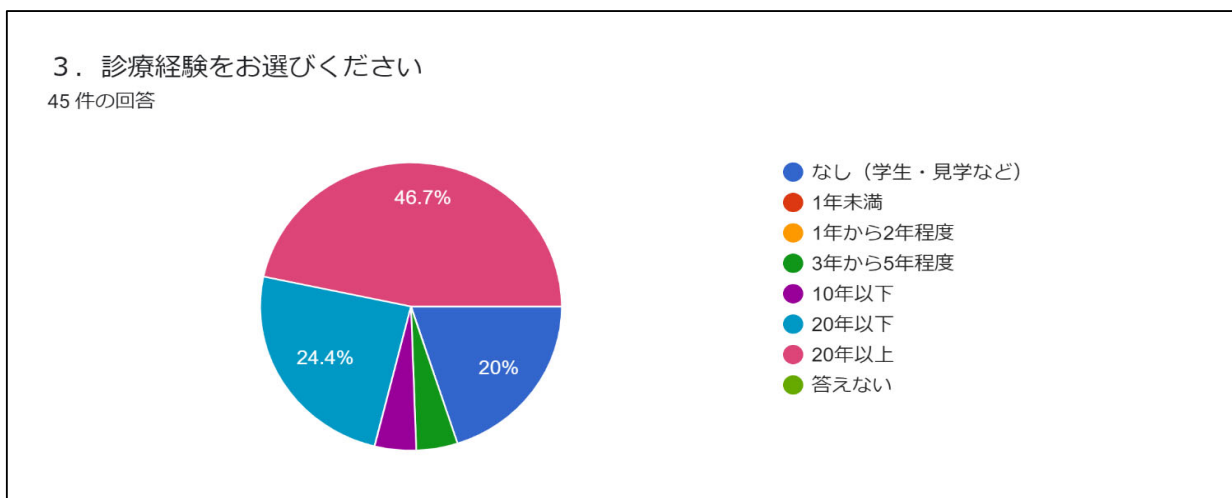
### 1. 本日の参加方式



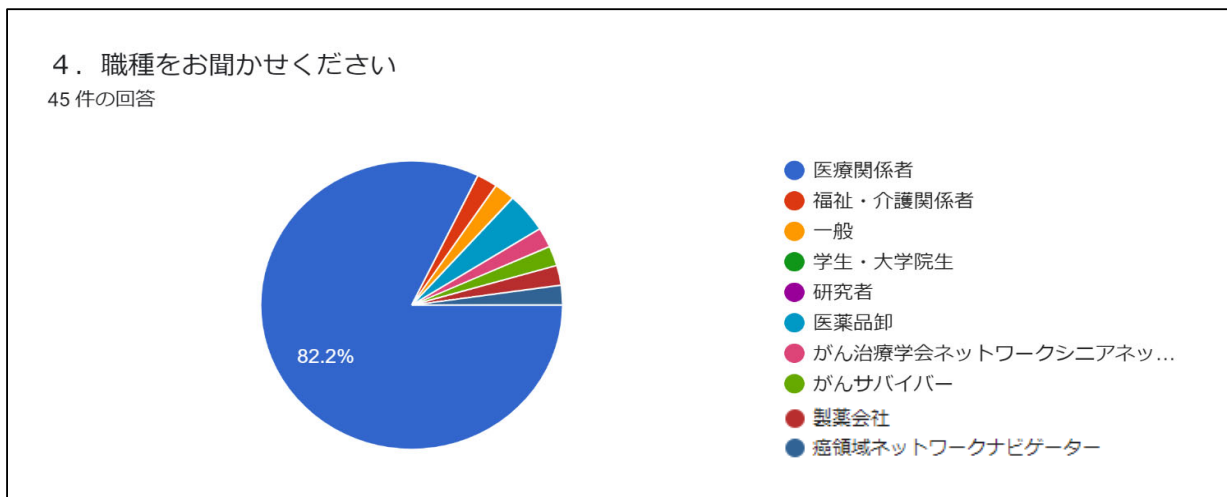
### 2 性別を教えてください



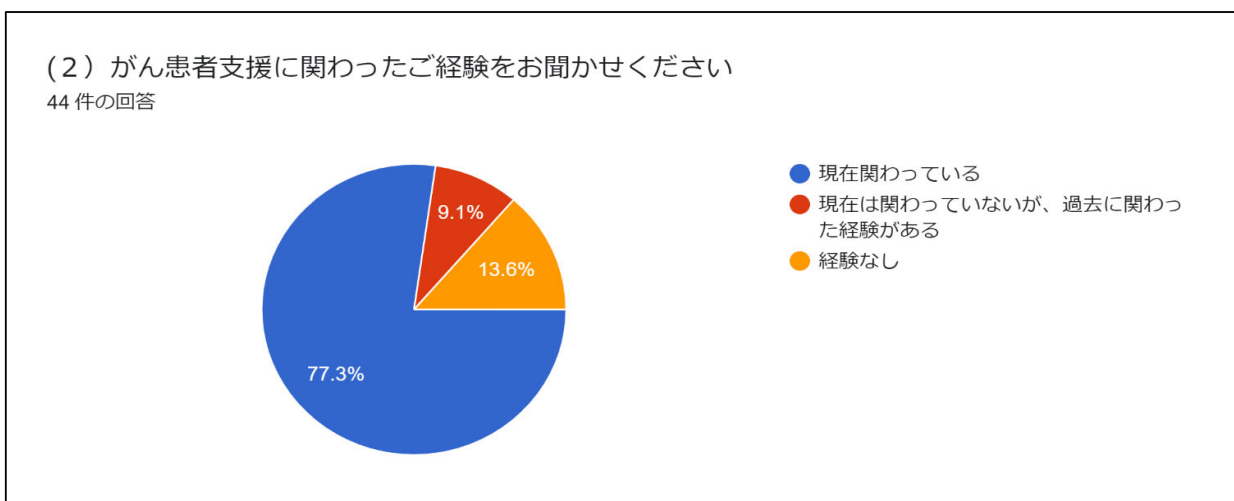
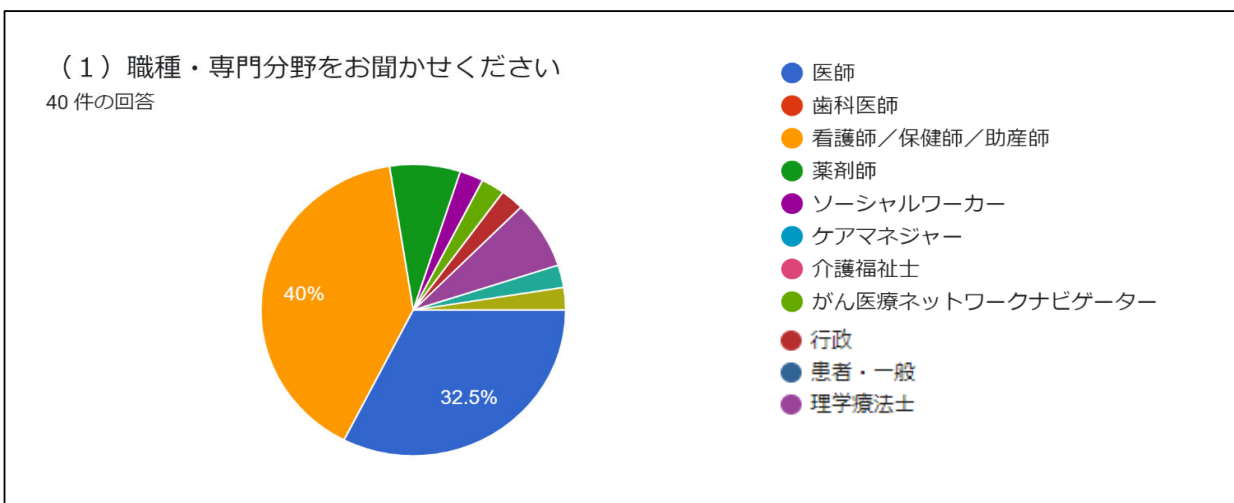
### 3. 診療経験をお選びください



4. 職種をお聞かせください



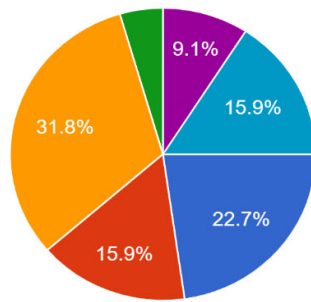
5. 上記で医療関係者および福祉・介護関係者にチェックされた方にお尋ねします



6. 研修会をどこで知りましたか

6. 研修会をどこで知りましたか

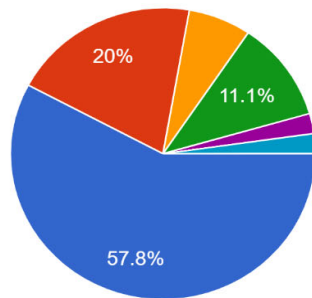
44 件の回答



- メール
- ポスター
- ちらし
- インターネット (がんの在宅療養のサイト)
- インターネット (その他)
- 人から聞いた

7. がん患者さんにどのくらいの頻度で関わっていますか

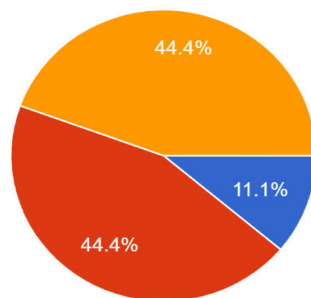
45 件の回答



- 常に (ほぼ毎日関わっている)
- ときどき (週に1回以上関わっている)
- たまに (月に1回以上関わっている)
- ほとんどない
- 臨床から離れている
- 現在は、がん患者さんとの関わりはない

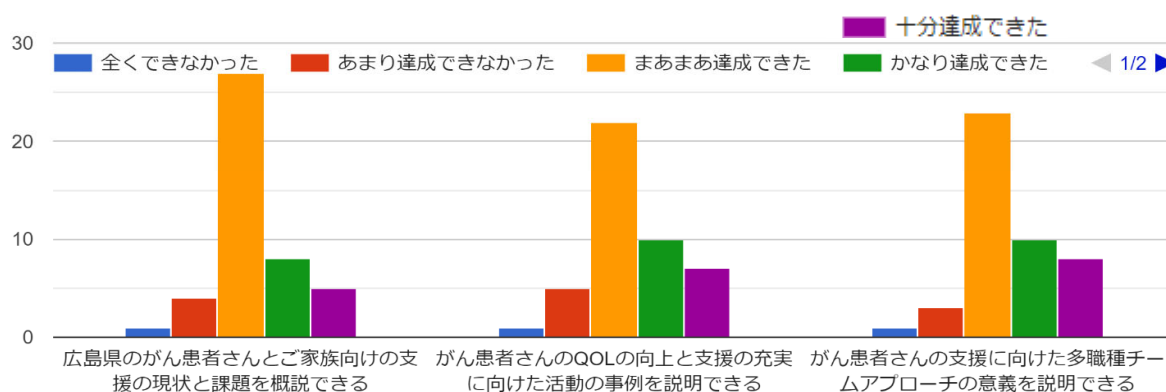
8. がん患者さんの支援に関する問い合わせや質問に対応できますか

45 件の回答

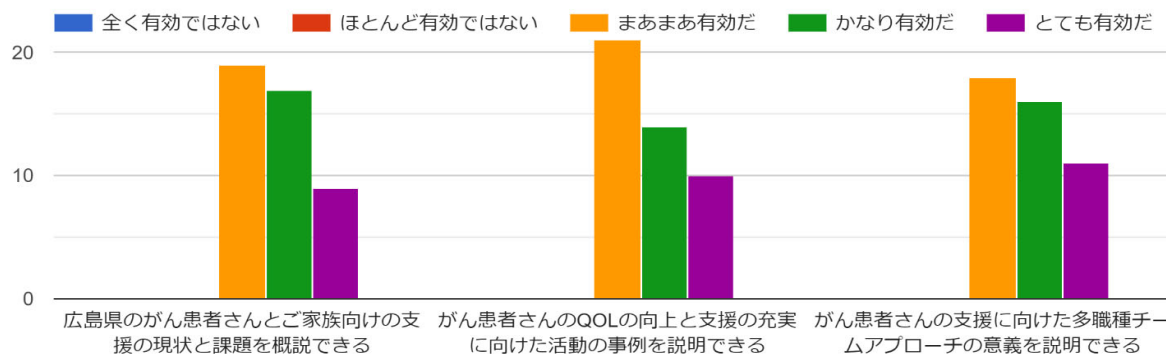


- 自信がある
- やや自信がある
- 自信が無い

9. 本日のセミナーの到達目標（3つ）について、どの程度「達成できた」と思いますか（5段階で選んでください）



10. 以下の到達目標（3つ）を達成するために、このセミナーはどの程度「有効だ」と思いますか（5段階で選んでください）



11. 本日の研修会のご感想、ご意見をお書きください。

大変勉強になった（3件）

内容がわかりやすかった（2件）

連携させていただいている病院の取り組みや県の取り組みが詳細に分り良かったです。

コロナ禍から、第5類となった現在ZOOMが主流となり、会場参加が少なかったように思いました。しかし、どこからでも、参加可能であることは、有意義であると考えます。

現在緩和ケア診療の立ち上げ中ですが、県病院のがん相談センターが参考になりました

県外から参加させていただきました。今後自身の県内で役立つ情報が多く、大変参考になりました。ありがとうございました。

がん患者診療における実務的な課題を確認できてよかったと思います。

がん患者さんのチーム医療と広島県の取り組み、実際の現場の声など聞いてとても参考になりました。広島県での健康診断の受診率が落ちている所、更なる工夫をしなければならない取り組み、いろいろな部署の連携で行動、など宜しくお願い致します。

がん治療の2極分化が行われている中で、長期フォローアップに対する責任母体が明確であると施策が進みやすいと思った。

研修会に参加したことで取り組みがわかり知ることが出来たので活かしていきたい。

広島県の取り組みについて自分が知らない部分があり、大変勉強になりました。

広島県のがんへの取り組みや県病院のがん相談支援センターでの取り組みを知る事が出来て参考になりました。

大変勉強になりました。広島県の現状や取り組みに関して整理でき、明日からの業務に早速活かしていきます。

がん患者さんの支援には多職種での連携が必要であることは認識していましたが、他医療機関や県での取り組みがいろいろあることを知らなかったので今後の看護活動に生かしていきたいと思いました。貴重なご講演をありがとうございました。
地域の規模や地域の特性を把握して適切な対応やチーム作りが大切と思いました。
ターミナルに入る前に、患者様と治療、今後の生活、思い等を、きちんと多職種でもっと確認・共有が出来ると良いなあと、思いました。理想を現実化出来るよう、日々、何か取り組んでいきたいです。
渡邊先生のお話が関心深く拝聴した。もう少し講演を聞きたかった。橋本さんの講演はがん相談支援センターの意義を感じるものでよかった。広島県の取り組みについては、今後の展望、行政の地域との連携についてを含めて聞きたかった。講演会開始までのイントロダクション、紹介が少し長く感じた。その分だけ講演やディスカッションの時間にあてるとよいと思った。
久しぶりのがん患者さん等の情報を教えて頂き、継続の学びの重要性を感じました。
事務局で参加しました。素晴らしいご講演ありがとうございました。

12. 「がん患者さんのためのチーム医療と地域連携の推進」に向けたご提案をお書きください、今後の企画の参考にさせていただきます。

がん患者の実態を、多くの方に知っていただく事が大切であると考えます。がんパスの重要性とクリニックのスタッフの、人材育成は今後も必要であると思います。生殖医療が公立病院にあることは、大きいと思いました。
当院でも相談センターに類似した制度を検討します。
SNSの活用
医薬品卸としてさまざまな医療機関へ携わっていてチーム医療、病診連携、薬薬連携など今後も重要なポイントになるかと思っています。つなぐをキーワードに情報の伝達や研修など視野と窓口を広げる事などご検討宜しくお願い致します。今後も研修会など勉強させてください。本日はありがとうございました。
がん診療連携協議会の活性化と地域医療・包括支援等との連携及び報道との連携
がんの患者さんは特に精神面のフォローが重要になってくるため、支援にはとても慎重になりますし、悩む事が多いです。支援者同士の意見交換会や事例検討などもあれば有難いと思います。
終盤のディスカッションが大変興味深い内容でした。連携というキーワードのもと、拠点病院の医師や薬剤師、診療所の医師や保険薬局の薬剤師、さらに看護師の皆様のそれぞれのお立場での課題をぶつけ合うディスカッションに参加してみたいです。
がん患者が悪くなってから地域に相談されることが多い。もっと早い段階から地域と関わっていく必要がある。事例紹介が最も効果があると思う。こんなことができる環境、仕組みを作っていけば良いんだと、擬似体験のようなものをする事で、支援のイメージ向上が図れると思います。
社会問題を抱える患者が多いが、今後人口減少で専門職や医療職で対応する今の体制では支えきれない不安がある。ピアサポーター、ナビゲーターとの協働・連携がその一歩だと思うが、病院内や医療チームで活動するにはまだ壁がある。問題を抱える人をどう支える体制について関心がある。
統一した見方や対応が出来る体制作りをお願いしたいです。
術後の患者様をクリニックで継続的に診させていただいてますが、診療情報だけでなく、看護サマリーの様なもので、治療以外の患者様の情報なども伝えていただけると、ナースも介入しやすくなると感じています。
もっと一般周知を
デバイス、ラインを用いた双方向の関係作りをがん患者相談支援センターで実行可能か検討したい。
関わりのあった方のデスクンファレンスの際には訪問看護にも声かけしていただきたい。訪問看護ステーションでもデスクンファレンスを行っていますが、病院関係者の方は参加しにくいと思いますが、訪問看護等は病院から声かけていただければ参加することは可能です(在宅医を含める場合は時間的な調整が必要ですが)
がん診療連携拠点病院としての条件が年々高度になり、その対策やマニュアル作成がすすまない現状があります。他病院のフローやマニュアル、実例などを学ぶ機会がほしいです。